

- ① 発生メッシュと、隣接する非発生メッシュとでは、基準が大きく異なる場合があります。同じ雨でも危険度の変わり方に差が出ることもありえる。基準の超過の傾向に極端な違いがないかも注意する必要がある。
- ② 今回設定した基準は、特定の降雨の的中率がその決定に強く効いていると考えられる。今後の基準の見直し時は、特定の降雨だけでなく、その他の降雨の的中率向上の程度にも配慮することを考えるとよい。
- ③ 地質帯区分は、今回検討に用いたもの以外にも、その他の考え方もある。基準に用いるこの他の工学的な要素にも様々な考え方があることも、今後の基準の見直しでも考慮する必要がある。